

in *Echinochloa phyllopogon*. *Plant Physiology* 165, 618-629.

三浦斗夢ら 2012. アセト乳酸合成酵素遺伝子に変異を持たないオモダカにおけるペンスルフロンメチル抵抗性機構. *雑草研究* 57(別), 128.

Sada, Y., *et al.* 2013a. Resistance levels of sulfonyleurea-resistant *Schoenoplectus juncooides* (Roxb.) Palla with various Pro₁₉₇ mutations in acetolactate synthase to imazosulfuron, bensulfuron-methyl, metsulfuron-methyl and imazaquin-ammonium. *Weed Biology and Management* 13, 53-61.

Sada, Y., *et al.* 2013b. Characterization of sulfonyleurea-resistant *Schoenoplectus juncooides* having a target-site Asp376 Glu mutation in the acetolactate synthase. *Pesticide Biochemistry and Physiology* 107 (1), 106-111.

定由直 2015. 水田雑草イヌホタルイの除草剤抵抗性. *農業および園芸*. 養賢堂. 90(1), 154-164.

内野彰ら 2007. 数種水田雑草におけるスルホニルウレア系除草剤抵抗性迅速検定法の改良. *東北の雑草* 7, 27-31.

Uchino, A. *et al.* 2007. Molecular basis of diverse responses to acetolactate

synthase-inhibiting herbicides in sulfonyleurea-resistant biotypes of *Schoenoplectus juncooides*. *Weed Biology and Management* 7, 89-96.

内野彰 2015. 多年生水田雑草の除草剤抵抗性. *農業および園芸*. 養賢堂. 90(1), 174-180.

内野彰 2016. これまでに日本で除草剤抵抗性が報告されている雑草. *除草剤抵抗性雑草研究会ホームページ*. <http://www.wssj.jp/~hr/weeds.html>. 2016.12.19 閲覧.

田畑の草種

種漬花・種浸け花 (タネツケバナ)

(公財)日本植物調節剤研究協会
兵庫試験地 須藤 健一

アブラナ科タネツケバナ属の冬生一年生草本。根生葉で越冬し、根元から分枝した数本の茎を立てる。高さ10～30cm。葉は7～17枚の奇数羽状複葉で頂小葉は少し大きい。早春に茎頂に径7～8mmの4片の白い花を総状につける。田んぼや水路脇などの湿ったところを好む。「春の七種」と同様に食用になる。

日本海を通り過ぎていく低気圧に向って南風が吹き込み、3月にしては暖かすぎるような陽気が続く。夜の間ひとしきり降った雨が上がった朝、少し緑が戻ってきた畦に立つと、田んぼの中に溜まった水の上に白い小さな花がちらちらと咲いているのが向こうまで続く。まだ、昨年枯れた稲の切り株が並ぶ田んぼと、そこに鋤の入った田んぼが入り混じる。この花が田んぼ一面に白く咲く頃、種糞を水に漬ける。稲作が始まるのである。この白い花がタネツケバナである。近年、一年中見られるようになってきたが、信濃の俳人滝沢伊代次は、晩春に田んぼ一面に咲くタネツケバナを見て、

「田一枚種漬花の花満てる」と稲作の始まりを詠った。本種と同属の種にオオバタネツケバナがある。タネツケバナを大きくしたようなこの種はタネツケバナと同様に食用となるが、タネツケバナより柔らかく辛味も優れるという。このオオバタネツケバナを愛媛県では「葶藶」といい、昔からの自生地「高井の里」のものを松山市の指定する天然記念物として保護している。松山出身の俳人正岡子規が東京の病床にあっても、松山の高井の里の「ていれぎ」と三津の浜で水揚げされた鯛を懐かしんだという。

「秋風や高井のていれぎ三津の鯛」
「種漬花」も「ていれぎ」も晩春の季語である。

ところで、タネツケバナの花言葉をご存知だろうか。その旺盛な生命力から「勝利」「情熱」「不屈の精神」などといわれているが、なぜか「父の失策」とも。それが「種付け花」の所以だろうか。意味深な、笑えない花言葉である(笑)。